

IFI NEWS

社団法人 日本インテリアデザイナー協会月報

1992 6・7

本部委員会委員長・ 事業支部支部長人事決定

平成4年度の運営組織は、5月26日開催の第24回通常総会で決定（総会資料23頁参照）されましたが、本年度より本部委員会の委員長は、IFI'95及び総務を除き担当理事が兼務しないことになりました。新年度の本部委員会委員長及び事業支部支部長人事は、通常総会当日開催の1992・第1回理事会で下記の通り決まりました。

記

1. 本部委員会 委員長

IFI'95委員会	長岡 貞夫 兼任（担当理事）
総務委員会	森谷 延周 兼任（担当理事）
組織委員会	山本其観代
国際委員会	福田 友美
交流委員会	藤村 盛造
広報委員会	吉良ヒロノブ
出版委員会	海老沢 宏
教育・研究委員会	
展覧会委員会	岩倉 榮利
報酬基準委員会	植田 益夫

2. 事業支部 支部長

関東事業支部	小坂希八郎
中部事業支部	池田 高明
同 副支部長	安藤 清
関西事業支部	浅田 弘之
九州事業支部	鐘ヶ江茂則

なお、本部委員人事は、後日決まり次第お知らせします。

目 次

●本部委員会委員長・事業支部支部長人事決定	1
●新年度の事業を始めるにあたって	2
●第24回通常総会報告	2
●1991年度「協会賞」贈賞式	3
●総会及び協会賞受賞記念パーティー	4
●'91・第5回及び第6回理事会報告	5
●'92・第1回理事会報告	12
●役員就任にあたって	15
中川国際、浅野交流・関東、山口展覧会・関西 各担当理事、金子監事	
●事業支部支部長就任にあたって	17
小坂関東、池田中部、鐘ヶ江九州各支部長	
●本部委員会の動き	
●新組織委員会から	18
●国際委員会年次計画	19
●教育・研究委員会	19
●事業支部の動き	20
関東・中部・関西九州各事業支部	20
●受賞にさいして	24
●デザインコンペ2題	25
●会計事務処理をコンピューター化	26
●事務局入局にあたって	26
●新入会員の紹介	27
●会員の異動	33
●事務局短信	39

IFI'95を成功させよう

副理事長 栢原 秀榮

去る5月26日実施された第24回通常総会において、平成4～5年度の新役員など4年度事業計画と新運営組織及び人事が承認され、いよいよ本年度の各事業がスタートを切ったわけですが、事業展開を始めるにあたり、下記の委員会を6月20日～21日の2日間開催致しました。それぞれの会議について記します。

●本部委員会担当理事・委員長会議

前記の各委員会運営に対する改善策も含め、本部事業をより高度なものとするため、本年度より委員会担当理事、委員長制を導入致しました。各委員会間の交流をより密度の高いものとし、また1つの事業を推進する場合、関連する各委員会との連携をもつことで、より効率の良い事業運営ができるものと信じ、J I Dとして初めての上記委員会を実施しました。ほとんどの担当理事・委員長の出席を得、各委員会からの事業計画案の発表とその推進方法等についての説明がありましたが、すべての委員会の前向きな取り組み姿勢と情熱を強く感じることができました。

また、委員会間との連携プレーなどの具体的な提案もあり、今年度の各委員会事業は今まで以上の素晴らしい成果が期待できるものと思われます。

●第1回 I F I '95委員会

'93年のグラスゴー会議に対する準備をはじめ、名古屋観光コンベンションビューローとの準備作業も本格的な取り組み時期となりました。I F I '95は単なる周年事業のレベルではなく、全J I Dの記念すべき大事業であり、日本のインテリア関連産業を巻き込んだ大イベントにまで発展させ成功させなければなりません。I F I 関連の他団体との協調もさることながら主催者であるJ I Dとして、いかなる立場でどのような内容あるものを提示すべきか、7月11日～12日実施される「I F I フォーラム '92犬山」での会議が今後の方向を示すキィとなることは間違いのないものと思われます。

●第1回支部長会議

各事業支部活動は、I F I '95に関連づけられた事業計画をベースに、会員相互の交流を計りながら展覽会計画など多方面にわたっています。浅田関西事業支部長以外新支部長を迎え、活発な事業支部独自の事業展開を推進していただけるものと期待しています。また各事業支部長間の交

流機会も2ヶ月に1回の割合いで実施できるようにとの要請もありますが、事業活動が活発になればなるほどそれぞれの費用が問題となり、今後の検討課題となりそうです。

●'92年度アドバイザー会議

理事長経験者及び正副理事長とのアドバイザー会議は、J I Dの運営方策などに対する高所からの助言をいただくための会議であり、本年度のJ I Dすべての事業運営についての参考にすべき貴重なアドバイスを得ることができました。

●事務局改革委員会・準備委員会

会員数の拡大とそれに伴う事務量の増加、女性職員の転職、また、I F I '95に対処するための事務局の体制づくりなど、事務局運営について改良、改善すべき問題が見受けられるようになりました。5月26日に実施された第1回理事会において、理事長より諮問機関としての上記委員会の設置案が提案され、前向きに取り組む方向で検討することになり、そのための準備委員会を開催致しました。

委員構成や設置趣意などの内容については明確になった段階でお知らせ致します。

以上のごとく5つの会議を2日間にわたり実施し、それぞれの会議に参加させていただきましたが、J I Dのメンバーには個性豊かな素晴らしい人材が揃っていることに心強く感動致しました。今回の一連の会議を実施した事で各委員の顔合せ的な目的も1つの要素として存在しますが、やはり多くの機会をつくって集まりコミュニケーションすることが、J I Dの今後の発展に大いに寄与するものと確信し、今回の会議は大成功であったと思う反面、会議運営のための諸費用の捻出が今後の大きな課題として残されていることを忘れてはならないと思っています。

一平成4年度事業及び予算や新運営組織等を承認一

去る、5月26日(火)、第24回通常総会が開催された。当日は、雲が多いながらも穏やかな日和だった。総会の会場は、理事会や関東支部の新春交礼会などでなじみ深い六本木の「国際文化会館」2階の講堂で午後3時より行われた。以下、当日の概略を報告する。

当日の出席者は、正会員本人出席46名、定款第26条による委任出席 361名、合計 407名と定足数を超え、総会は成立し定刻に開会した。長岡理事長挨拶の後、議案及び報告

事項は5月初旬に送付された議案書に基づき、議案の審議に入った。例年通り「平成3年度事業報告及び決算報告、同監査報告」が行われた。本年は新役員就任の年なので、本年1月に実施された役員選挙及び就任辞退による繰上げ当選の結果が報告された。また、2月中旬に開催された新理事予定者会議で、平成4～5年度の理事長及び副理事長は互選の結果、前年度の正副理事長が再選された旨報告、「新役員と新運営組織」が承認された。引続き、「平成4年度事業計画及び収支予算（案）」について栢原副理事長が説明の後、総会に諮り承認された。なお、今回より総会議長は、昨年8月の定款改訂によって、長岡理事長が議長となり、滞りなくすめられ、定刻4時過ぎ終了した。本年度は新名誉会員に、井関黎一会員他11名が推挙されたが、その中で、川崎 浩、長 大作、富田卓司の三会員は、10年以上にわたり役員を歴任されたので、会員規定第2条に基づき新名誉理事に推挙された。長岡理事長より新名誉会員に感謝状と記念品が贈呈され、川崎名誉理事が代表してお礼の挨拶を述べた。

以下、当日ご多忙の中を総会に出席された方々のお名前を列記し、お礼に代えさせていただきます。

○総会2役

議事録署名人 島崎 信、鈴木 栄二
書 記 栃谷 賢一

○正会員

秋山 修治、浅野 盛治、安藤 孚、内田 正男
宇塚 嘉寿、榎田 均、大島 文夫、梶 高樹
川上 信二、吉良 ヒロヲ、斎藤 武行、阪井 良種
佐々木 毅、島崎 信、下島 資子、白石 勝彦
鈴木 栄二、鈴木 滋伸、長 大作、中川 帛子
中村 圭介、長岡 貞夫、水野 信策、三輪 正弘
森谷 延周、山田 素志、山本 棟子、枕 暁
井関 黎一、栢原 秀榮、金子誠之助、川崎 浩
富田 卓司、花田 眞、山口 道夫、山崎 晶
池田 高明、宇賀 敏夫、瀬 十記夫、玉置 勇一
千葉 豊、栃谷 賢一、中村 憲二、小川 欣一
鐘ヶ江茂則、中川 千年

○オブザーバー出席会員

賛助会員

(株)アイティーオー 大村 弘
(株)三 装 宗田三起子
東京ガス (株) 安東 清喬

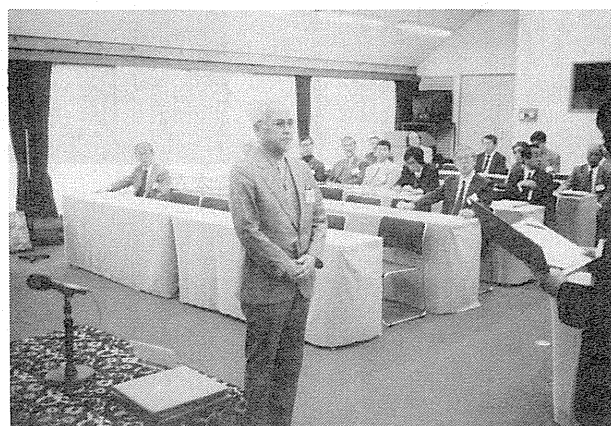
名誉会員

香川 顕郎

(順不同 敬称略)



総会議事を進行する長岡議長



長 名誉理事に感謝状贈呈

1991年度「協会賞」贈賞式

－中川千早・宮本茂紀両氏が受賞－

1991年度協会賞の贈賞式は、第24回通常総会終了後、同会館地下の宴会場で、午後6時から行われた。まず開式及び司会を選考委員の白石勝彦会員が担当し、「協会賞」についての意義などが説明された。引続き、島崎選考委員長より本年度の「協会賞」の選考経過及び贈賞の理由が報告された。続いて長岡理事長より今年度の協会賞を受賞された下記2名の方々に対し「協会賞」が贈られ、祝辞を述べた。

作品 「タペストリーを中心としたインテリア空間への展開」
－横浜市大付属病院の作品他－
フォンス (株) 代表取締役社長 中川千早氏

業績 「長年にわたる家具の試作・開発モデラーとしての活動」

(株)五反田製作所 代表取締役社長 宮本茂紀氏

贈賞に引き続き、「協会賞」の受賞者、中川千早・宮本茂紀の両氏から受賞の喜びの言葉が述べられ、参会者一同が拍手をもってお祝いし、贈賞式は閉式となった。なお、例年は、同時に行ってきた「野口記念賞」の受賞式は、今回受賞作品に該当する作品がなく、行われなかった。



1991年度協会賞を受賞する宮本茂紀氏



受賞の喜びを語る中川千早氏

総会及び協会賞受賞記念パーティー

ー併せて大泉博一郎・渡辺 力・川崎 浩の三氏を祝うー

1991年度「協会賞」の贈賞式が終了し、小憩の後、「第24回通常総会および1991年度協会賞受賞記念パーティー」が同会場午後6時30分より開催された。パーティーには、会員70名の他、ご来賓の方々や報道関係を併せ、100名が参会した。まず、森谷延周理事の開会の辞に始まり、長岡

貞夫理事長がJ I Dを代表して挨拶、続いてご来賓の、通産省検査デザイン行政室の宮崎修二室長・(財)日本産業デザイン振興会の村野啓一郎理事長・(財)工芸財団明石一男理事長代理の芳竹茂助氏の三氏から祝辞を頂いた。続いて(社)日本パッケージデザイン協会新任の金子修也理事長より乾杯のご発声を頂き、歓談に移った。宴たけなわとなった頃、「第19回国井喜太郎産業工芸賞」を受賞した大泉博一郎名誉会員(J I D初代理事長)及び渡辺 力名誉理事代理の水野信策会員から受賞のお礼の挨拶、続いて春の叙勲で「勲五等瑞宝章」を受章された川崎 浩名誉理事から喜びの言葉が述べられ、参会者は夫々に盛大な拍手でお祝いした。その後、中部事業支部担当の宇賀敏夫理事が7月中旬に開催予定の「I F I フォーラム '92犬山」に多数の会員が参加するよう要請した。歓談は8時過ぎまで続き、浅野盛治理事の閉会の挨拶で散会した。最後にご多忙の中を贈賞式及びパーティーにご出席頂いた会員各位、ご協力下さった本支部総務委員会の各位に厚くお礼を申し上げます。



通産省宮崎検査室長の祝辞



国井賞受賞の挨拶をされる大泉名誉理事と水野会員



勲五等瑞宝章受賞の挨拶をする川崎名誉理事

'91・第5回理事会報告

1. 日 時：平成4年1月24日（金）13：00～17：00

2. 場 所：国際文化会館 会議室
東京都港区六本木5-11-16

3. 出席者名：別紙の通り

4. 議 題：

I. 報告事項

- (1) 各事業支部及び各委員会事業推進状況
- (2) 平成4～5年度役員選挙開票結果報告
- (3) 第24回通常総会までのスケジュールについて
- (4) 新名誉会員の推挙予定者（12名）
- (5) 平成3年度収支中間決算報告（H3／4～12）
- (6) （財）日本産業デザイン振興会よりの協力依頼について
- (7) 本部事務局職員の退職について
- (8) その他
 - ・関東事業支部主催「'92新春交礼会」について
 - ・本部事務所借用要請に対する東京ガス（株）からの回答

II. 議 案

第1号議案 賛助会員年会費改定（案）承認の件

第2号議案 会員規定一部改訂（案）承認の件

第3号議案 APSDA加盟承認の件

第4号議案 協賛名義承認の件

第5号議案 入会及び退会承認の件

第6号議案 議事録署名人選任の件（2名）

5. 議 事

野村事務局長より「理事総数15名中本人出席13名、

委任状2名で本理事会は成立した」旨報告がなされた。
引続き、長岡理事長が議長となり議事に入った。

I. 議 案

第1号議案 賛助会員年会費改定（案）承認の件

議長は、第1号議案について川崎財務委員長に説明を求めた。川崎委員長は、本議案は前回の理事会で継続審議となったものであり、改定額（案）及び時期等について資料に基づきその内容を説明した。議長は、改定額及び改定時期等につき慎重に審議した結果、平成5年度より賛助会員の年会費を80,000円に改定する旨理事会に諮り、表決の結果、賛成多数により承認された。

第2号議案 会員規定一部改訂（案）承認の件

議長は、第2号議案について森谷総務委員長に説明を求めた。森谷委員長は、前回の理事会で正会員の年会費が改定されたのに伴い、会員規定 第7条（会費）1項（1）正会員年額36,000円を48,000円に改訂する旨説明した。

議長は、第2号議案につき理事会の承認を諮り、異議なく承認された。

第3号議案 APSDA加盟承認の件

議長は、第3号議案について山本国際委員長に説明を求めた。山本委員長は、昨年10月21日に設立されたAPSDA（アジア太平洋スペースデザイナー協会）の加盟について、規約などについて説明した後、IFI'95名古屋を成功させるためには、APSDAへの加盟が必要である旨説明した。また、この件については、すでにAPSDAに加盟している（社）日本商環境設計家協会の下承を得ている旨補足説明した。

議長は、第3号議案につき理事会の承認を諮り、異議なく承認された。

第4号議案 協賛名義承認の件（2件）

議長は、第4号議案について野村事務局長に説明を求めた。事務局長、各々の資料に基づき、実施予定について説明した。

議長は、第4号議案につき理事会の承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

○第20回 国際ホテル・レストラン・ショー 協 賛
主 催 （社）日本能率協会
（'92. 3. 10～14 東京）

○セミナー「住まいのアメニティ」 協 賛
主催 生理人類学会
('92. 4. 23～24 東京)

第5号議案 入会及び退会承認の件

議長は、下記21件について野村事務局長に内容の概括説明を求め、事務局長は各々の資料に基づき説明した。

議長は、第5号議案につき理事会の承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

入 会 正会員 20件

氏 名	支部	保 証 推 薦 者
吉 田 富 一	関東	山崎 尊 ・ 阪井 良種
谷 本 邦 彦	"	" ・ 中川 帛子
八 角 典 子	"	中村 圭介 ・ 荒武 初
檜 村 弘 子	"	下島 資子 ・ 中川 帛子
中 川 富 美	関西	川崎 浩 ・ 野原 建広
佐 藤 敬	関東	下島 資子 ・ 中川 絹子
鈴 木 武 助	"	白石 勝彦 ・ 有川 高志
中 村 基一郎	"	田阪 春夫 ・ 田中 博
佐々木 毅	"	李 泰久 ・ 山本 棟子
竹 園 肇	中部	宇賀 敏夫 ・ 関西 冬樹
山 下 昌 男	"	" ・ "
五 貫 栄 喜	関西	柴山 英二 ・ 飯田 公久
高 石 芳 子	関東	山品 元 ・ 宮嶋恵美子
竹 岡 美智子	"	白石 勝彦 ・ 山品 元
斎 藤 正 昭	"	杉 富士雄 ・ 中山 博文
伊 藤 真 介	"	間 博信 ・ 浅野 盛治
高 橋 幸 世	"	岩倉 榮利 ・ 松原 文子
槇 原 久 恵	関西	長岡 貞夫 ・ 金堀 一郎
豊 田 誠	"	" ・ 栢原 秀榮
酒 井 哲 美	中部	栃谷 賢一 ・ 丹尾 敬吾

退 会 正会員 1件

氏 名	支部
佐 藤 孝 男	中部

第6号議案 議事録署名人選任の件

議長は、議事録署名人に中川千年、中村圭介両理事の選任につき理事会に承認を諮り、異議なく承認された。

(社)日本インテリアデザイナー協会1991・第5回理事会に関し、定款第28条の定めるところに基づき、議事経過及び議決事項を記すため、議長と議事録署名人がここに記名捺印する。

議 長 長 岡 貞 夫 印

議事録署名人 中 川 千 年 印

議事録署名人 中 村 圭 介 印

1991・第5回理事会出席者

長岡 貞夫、栢原 秀榮、渡辺 優、白石 勝彦、森谷 延周、山本 棟子、中村 圭介、中川 千年、宇賀 敏夫、川崎 浩、山品 元、三輪 正弘、川上 信二
理事総数15名中15名(本人出席13名、委任状2名) (委任状) 泉 修二、富田 卓司
監 事 榎田 均
事務局長 野村 禮七郎

(順不同 敬称略)

次回1991・第6回理事会は、平成4年3月31日(火)東京で開催の予定。

II. 報告事項

議長は、報告事項(1)について各事業支部担当理事及び本部各委員長に、(2)～(8)については野村事務局長に報告を求め、各々下記の通り報告した。

(1) 各事業支部及び本部委員会事業推進状況

・ 関東事業支部 (森谷)

'91年11月20日より'92年1月17日までの活動状況報告及び1月24日より3月31日までの実施予定について、合同委員会(11月20日)や交流、総務、出版等の事業等を中心に、資料に基づき報告した。

・ 中部事業支部 (宇賀)

'91年4月27日より'92年1月18日までの活動状

況について、I F I 会議意見交換会（11月30日）等を中心に、資料に基づき報告した。

・関西事業支部（宇賀）

’91年11月14日より’92年1月14日までの活動状況について、運営委員会（1月14日）等を中心に、資料に基づき報告した。

・九州事業支部（中川）

’91年10月26日より’92年1月10日までの活動状況について、支部役員選挙開票（1月5日）、新年会（1月10日）等を中心に、資料に基づき報告した。

・国際委員会（山本）

’91. 12. 7 K O S I D（韓国インテリアデザイナー協会）ミン理事長が来日の折会談し、I F I ’95名古屋への協力を要請した。また、今後の運営組織のあり方（担当理事と委員長は兼任しないで分担させる）、J I D 名刺（英文）のフォーム統一等の提案がなされた。

・交流委員会（川上）

本部交流委員会の役割等について改めて本支部各委員へアンケートを’91. 10下旬から11月上旬にかけて実施した。さらに、この結果を基に今後の活動目標とする旨、資料により報告した。

・広報委員会（山品）

広報の配布先が本部中心となっているので、抜本的に見直す手段として、全会員にアンケートを出し、身近な公的機関・団体等の情報を集めることになった。

・出版委員会（三輪）

機関誌「インテリアデザイン」112号を、1月20日発行した。I F I 特集号なので英訳も加え、海外にも発送する予定。

・教育・研究委員会（白石）

昨秋実施した海外デザイン研修の報告書を目下作成中で、進行状況について報告した。

・報酬基準委員会（中村）

設計監理報酬について、通産省の統計による平均値との格差が大きいのので、現状把握のため設計事務所経営者及び設計セクションの責任者を会員の中から70名を選び、設計報酬等の現状をアンケートにより調査し、改訂値の参考とする予定。

・展覧会委員会（渡辺）

来る1月29日より2月1日まで幕張メッセで開催される「J A P A N T E X ’92」でI F I ’95のP Rを主体とした展示を行う。予算は30万円。

・I F I ’95準備委員会（宇賀）

第3回準備委員会を1月23日に東京で開催し、I F I ’95のテーマやスケジュールについて討議した。その結果、企画構想を作成する小委員会を設け、構想案を作成することになった。次回は名古屋でN B Cを交えて開催する予定。

（注）選考、総務、財務、組織の各委員会については、特に報告事項がなく省略した。

(2) 平成4～5年度役員選挙開票結果報告

去る1月14日開催の選挙管理委員会（加集喜雄委員長）における役員選挙開票結果の資料が提出され、事務局長が報告した。当選者の氏名は次の通り。

・理事予定者

（関東）長岡 貞夫、森谷 延周、中川 帛子、
川上 信二、泉 修二、山品 元、
浅野 盛治、山本 棟子 以上定数10名

（中部）宇賀 敏夫 以上定数1名

（関西）栢原 秀榮、山口 道夫、山崎 晶
以上定数3名

（九州）中川 千年 以上定数1名

・監事予定者

（関東）榎田 均 以上定数1名

（中部、関西、九州）川崎 浩 以上定数1名

(3) 第24回通常総会までのスケジュールについて

平成4年度の第24回通常総会が来る5月26日（火）に予定されているので、新理事予定者会議など総会までのスケジュール（案）が事務局より提出された。

(4) 新名誉会員の推挙予定者（12名）

例年の暦年により、次の9名が推挙される予定である。

梶 高樹、河端二郎、長 代作（以上関東）瀬十記夫、
玉置勇一（以上中部）、井関黎一、大竹正道、奥宮
守（以上関西）、小川欣一（九州）

なお、本年度から当年度末までに満70歳を迎える者を推挙することになり、横田真利（中部）、川崎 浩、
富田卓司（以上関西）3名を新たに追加し、12名となった。

(5) 平成3年度収支中間決算報告

平成3年4月1日より平成3年12月31日までの一般会計収支中間決算報告書資料が配布され、概要を説明した。

(6) (財)日本産業デザイン振興会よりの協力依頼について

外部からのデザインに関する問い合わせに対処するための担当窓口の設置等について、(財)日本産業デザイン振興会より協力依頼があった。

(7) 本部事務局職員退職について

事務局職員 伊藤公子、朝妻昭子の両名が今月末をもって依願退職の申出があり、退職理由、後任の募集状況等について報告した。

(8) その他

- ・平成3年11月27日付でJ I Dが東京ガス株式会社へ提出した同社新宿パークタワービル(平成6年5月竣工予定)のJ I D本部事務所の借用要請に対し、同年12月5日付文書で入居を了承する旨同社より回答があった。
- ・関東事業支部主催「'92新春交礼会」(H4. 1. 24)の出席予定者について報告した。

議長は、報告事項(1)～(6)、(8)及び(7)の退職職員に対し、理事会として慰労金を贈る件について理事会の了承を求め、理事会はこれを了承した。

以上

'91第6回理事会報告

1. 日 時：平成4年3月31日(金) 13:30～16:30

2. 場 所：国際文化会館 会議室

東京都港区六本木5-11-16

3. 出席者名：別紙の通り

4. 議 題：

I. 報告事項

- (1) 各事業支部及び本部各委員会事業推進状況
- (2) 新理事予定者会議(H4. 2. 18開催)
- (3) 平成3年度収支中間決算報告(H3. 4. 1～H4. 1. 31)及び編成3年度事業報告(案)
- (4) 第19回国井喜太郎産業工芸賞受賞者(3名)
- (5) 本部事務局職員の入局について
- (6) その他

II. 議 案

第1号議案 平成4年度運営組織及び担当役員人事(案) 承認の件

第2号議案 平成4年度事業計画及び収支予算(案) 承認の件

第3号議案 1993・APSDA準備会議派遣人事(案) 承認の件

第4号議案 新名誉会員推挙承認の件

第5号議案 後援・協賛名義承認の件

第6号議案 入会及び退会承認の件

第7号議案 議事録署名人選任の件(2名)

5. 議 事

野村事務局長より「理事総数15名本人出席11名、委任状4名で本理事会は成立した」旨報告がなされた。引続き、長岡理事長が議長となり議事に入った。

I. 議 案

第1号議案 平成4年度運営組織及び担当役員人事(案) 承認の件

議長は、第1号議案について野村事務局長に説明を求めた。事務局長は、本議案は、去る2月18日、東京で開催された新理事予定者会議で、新理事長の互選及び新運営組織について話し合われた結果を、新正副理事長予定者によってまとめたものである旨、資料に基づき説明した。なお、新年度より本部各委員会に担当理事を置き、委員長は総務を除き兼務しないこととする旨補足説明した。

議長は、第1号議案につき理事会の承認を諮り、異議なく承認された。

第2号議案 平成4年度事業計画及び収支予算(案) 承認の件

議長は、第2号議案について、野村事務局長に説明を求めた。事務局長は、この事業計画及び収支予算(案)を、正副理事長、本部財務委員長、同総務委員長、本部事務局長からなる予算調整会議で一部調整または修正したものであるとし順次説明した。理事会は慎重に審議した結果、一部の微調整については予算調整会議に一任してはどうかとした。

議長は、第2号議案につき理事会の承認を諮り、異議なく承認された。

第3号議案 1993・APSDA準備会議派遣人事(案) 承認の件

議長は、第3号議案について野村事務局長に説明を求めた。事務局長は、来る4月10日より12日まで、中華民国・台北で開催される1993・APSDA準備会議に、JIDを代表として、中川昂子関東支部長（国際委員会担当理事予定者）1名の派遣を予定している旨説明した。

議長は、第3号議案につき理事会の承認を諮り、異議なく承認された。

第4号議案 新名誉会員推挙承認の件（12名）

議長は、第4号議案について野村事務局長に説明を求めた。事務局長は、定款第5条3項及び会員規定第2条3項及び第6条3項に基づき次の12名を名誉会員に推挙する。その中で、川崎 浩、長 大作、富田卓司の3名は、会員規定第2条3項(2)の名誉理事に該当する旨補足説明した。

議長は、第4号議案につき理事会の承認を諮り、異議なく承認された。

氏 名	事業支部
梶 高樹、河端二郎、長 大作 瀬 十記夫、玉置勇一、横田真利 井関黎一、大竹正道、奥村 守、川崎 浩、 富田卓司 小川欣一	関東 中部 関西 九州

第5号議案 後援・協賛名義承認の件（5件）

議長は、第5号議案について野村事務局長に説明を求めた。事務局長は、各々の資料に基づき、実施予定について説明した。

議長は、第5号議案につき理事会の承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

○第17回 I C S I D リュブリアーナ会議 参加ツアー 主催 (社)日本インダストリアルデザイナー協会 ('92. 5. 12~23 海外)	協 賛
○ニュービルディング関西 '92 主催 (社)日本能率協会 ('92. 5. 21~23 大阪)	協 賛

○クラフトマンズヨコハマ展
主催 クラフトマンズヨコハマ
('92. 5. 8~9 横浜)

後 援

○セミナー「感覚と快適性」
主催 生理人類学会
('92. 6. 18~19 東京)

協 賛

○第4回1992建築仕上フォーラム
「21世紀・家づくり・街づくり」
主催 1992建築仕上フォーラム組織委員会
('92. 12. 9~12 幕張メッセ)

後 援

第6号議案 入会及び退会承認の件

議長は、下記46件について野村事務局長に内容の概括説明を求め、事務局長は各々の資料に基づき説明した。

議長は、第6号議案につき理事会の承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

入 会 正会員 24件

氏 名	支部	保 証 推 薦 者
石 川 暢 子	関東	合田 正甫 ・ 伊吹 弘
林 千賀子	"	" ・ "
伊 藤 博 昭	"	" ・ "
徳 丸 裕 子	"	" ・ "
夏 目 英 寿	"	" ・ "
藤 川 聰 恵	"	" ・ "
生 田 晶 子	"	" ・ "
佐 藤 みゆき	"	" ・ "
木 村 亨 司	"	渡邊 輝男 ・ 須田佐和子
稲 垣 哲 也	"	山本 信 ・ 真下 優子
今 野 克 彦	"	" ・ "
栗 原 幸 代	"	" ・ 山本 桂
大 山 芳 弘	"	" ・ "
森 田 博 子	"	下島 資子 ・ 黒田 秀雄
村 田 良 憲	九州	松本 豊 ・ 酒井 博幸
末 永 眞佐子	関東	長岡 貞夫 ・ 行方ひふみ
寺 島 千枝子	"	" ・ "
杉 村 久 美	九州	稲田 慎一 ・ 酒井 博幸

金子 妙子	中部	早川 昌直	・ 宇賀 敏夫
秋山 洋子	関西	川崎 浩	・ 森 宣雄
野田 道隆	関東	長岡 貞夫	・ 関口 英子
望月 靖子	〃	〃	・ 小玉 靖子
寺井 洋介	関西	栢原 秀榮	・ 近沢 晴雄
朝田 孝嘉子	〃	〃	・ 〃

入 会 賛助会員 2件

氏 名	支部	保 証 推 薦 者
大和建材工業(株)	関西	宇野 隆
(株)ファシリティアソング 研究所	関東	事務局扱

退 会 正会員 15件

氏 名	支部	
池 本 要	関西	
山 本 ヒカル	関東	
片 桐 秀 三	関東	
目 次 昭 雄	関西	
岸 田 勝	関東	
中 村 忠 司	九州	
葎 原 基	中部	
坂 山 正 一	関東	
岡 本 賢 三	関東	
石 田 忠 昭	中部	
村 井 輝 男	関東	
古 賀 文 三	関東	定款第8条2項(4)該当者
青 山 一 男	関東	〃
藤 原 貴 子	関東	〃
坂 田 賢次郎	九州	〃

退 会 賛助会員 5件

氏 名		
(株)ダスキ		

共同通信工業(株)		
(株)アーキツアンド アーティスト		
(株)ノバ大島		
(株)野 亜		

第7号議案 議事録署名人選任の件

議長は、議事録署名人に三輪正弘、森谷延周両理事の選任につき理事会に承認を諮り、異議なく承認された。

(株)日本インテリアデザイナー協会1991・第6回理事会に関し、定款第28条の定めるところに基づき、議事経過及び議決事項を記すため、議長と議事録署名人がここに記名捺印する。

議 長 長 岡 貞 夫 印

議事録署名人 三 輪 正 弘 印

議事録署名人 森 谷 延 周 印

1991・第6回理事会出席者

長岡 貞夫、栢原 秀榮、白石 勝彦、川崎 浩、 中村 圭介、中川 千年、森谷 延周、山品 元、 山本 棟子、三輪 正弘、富田 卓司
理事総数15名中15名（本人出席11名、委任状4名） （委任状）泉 修二、宇賀敏夫、川上信二、渡辺 優
監 事 榎田 均、渡邊敏雄
事務局長 野村 禮七郎

（順不同 敬称略）

次回1992・第1回理事会は、平成4年5月26日（火）
東京で開催の予定。

II. 報告事項

議長は、報告事項(1)について各事業支部担当理事及び本部各委員長に、(2)～(8)については野村事務局長に報告を求め、各々下記のとおり報告した。

(1) 各事業支部及び本部委員会事業推進状況

・ 関東事業支部 (森谷)

’92年1月30日より ’92年3月31日までの活動状況及び5月15日までの実施予定について、“BOS

H” スポンサーとの懇談会（3月31日）及びPEN
EROPÉ展（3月19日）等を中心に、資料に基づ
き報告した。

- ・関西事業支部（栢原）
’92年1月23日より3月21日までの活動状況及び
5月上旬までの実施予定について、支部役員選挙開
票（3月19日）等を中心に、資料に基づき報告した。
- ・九州事業支部（中川）
’92年2月15日より3月31日までの活動状況及び
4月上旬までの実施予定について、展覧会準備委員
会（2月15日）、新旧役員会議（3月25日）等を中
心に、資料に基づき報告した。
- ・選考委員会（野村）
3月5日の選考委員会で、1991年度「野口記念賞」
及び「協会賞」の第1次審査を行った結果、「協会
賞」2件を選考した。第2次審査を来る4月8日
に行う予定。なお、「野口記念賞」については、慎重
に審査した結果、「野口記念賞及び野口記念奨励賞」
に該当する作品がなかった。
- ・総務委員会（森谷）
事務局職員2名の退職に伴い、委員長を中心に、
決算、「J I D NEWS」の編集、新職員の採用
等、事務局の業務運営全般について本部事務局を支
援した。
- ・財務委員会（川崎）
2月末より3月中旬にかけて各事業支部主催の年
会費改定説明会に出席、年会費の改定について説明
し、正会員の了承を得た。
- ・組織委員会（富田）
現在の入会申込書の書式改訂について、入会案内
を加え、従来の8枚を2枚にまとめ、別紙（案）を
作成した旨説明した。その他、’91年度の正・賛助
会員の会員拡充数及び比率について資料に基づき説
明、正会員は目標数に達したが、賛助会員には、目
標値に52%にとどまった。
- ・広報委員会（山品）
方向の配布先について、身近な公的機関・団体な
どの情報をアンケート形式で全会員に依頼した結果、
12名34件の回答があったので、今後の広報配布先に
加える。
- ・出版委員会（三輪）

機関紙「インテリアデザイン」113号を企画
中。前回はI F I 特集号で英訳も加え、苦
労したが海外でも評判がよかった。次号
については、良い企画があれば提案願
いたい。

- ・教育・研究委員会（白石）
昨年秋実施した海外デザイン研修の報告書をま
とめあげたので、近日中に発行する。
 - ・報酬基準委員会（中村）
設計監理報酬に関し、設計報酬等の現状をアン
ケートにより調査を行った結果、回答は19名に留ま
った。これから集計し、後日報告する。
 - ・I F I ’95準備委員会（宇賀）
去る3月21日、名古屋で第4回の委員会を開催
した。今回は（財）名古屋観光コンベンションビ
ューローから望月専務理事他3名、J I Dからは理事
長他8名が出席、J I Dが作成した企画構想（案）
やスケジュール（案）について説明、今後の進め方
などについて話し合った。なお、I F I ’95のテーマ
等を検討するフォーラムを、来る7月11日～12日
に愛知県犬山市で開催することになった。
以上宇賀担当理事委任出席のため野村事務局長が
代理報告。
- （注）中部事業支部及び交流委員会並びに展覧会委員会
については宇賀担当理事、川上委員長、渡辺委員
長は、委任出席のため特に報告がなかった。
- (2) 新理事長予定者会議
去る2月18日に開催し、新理事長及び副理事長の
互選、平成4年度運営組織及び人事の基本方針に
ついて検討し、別紙資料の通り決定した。
 - (3) 平成3年度収支中間決算報告及び同事業報告（案）
平成3年4月1日より平成4年3月31日までの一
般会計収支中間決算報告書資料が配布され、概要
を説明した。平成3年度事業報告（案）は、本部
事務局長が作成したもので、今後各担当理事の確
認を受けてまとめる予定。
 - (4) 第19回国井喜太郎産業工芸賞受賞者
去る2月25日、（財）工芸財団より受賞者3名が
公表され、その中J I Dから2名の会員が受賞し
た。
・渡部 力会員（J I D名誉理事）

- ・大泉博一郎会員（J I D名誉理事、初代理事長）
- ・宮崎珠太郎氏（元大分県別府産業工芸試験所
所長）

(5) 本部事務局職員の入局について

本部事務局職員 2 名の退職に伴う公認として下記
1 名を試雇採用した。

- ・田口康之 41 歳（上智大学経済学部卒、元東光
堂営業課長）。平成 4 年 3 月 26 日付。

(6) その他

- ・森谷理事に対する若干の有償支出について
本部事務局員 2 名の退職に伴い、去る 1 月以来本
部事務局への支援に対し、若干を有償支出する予
定。

議長は、報告事項(1)～(6)について理事会の承認
を求め、理事会はこれを了承した。

以 上

’92・第 1 回理事会報告

1. 日 時：平成 4 年 5 月 26 日（火）13：00～14：30

2. 場 所：国際文化会館 会議室

東京都港区六本木 5-11-16

3. 出席者名：別紙の通り

4. 議 題：

I. 報告事項

- (1) 選考委員会報告
- (2) 平成 3 年度会計監査完了報告
- (3) 平成 4 年度権利停止予定者
- (4) 川崎 浩理事 勲五等瑞宝章叙勲
- (5) 関連団体人事異動
- (6) 平成 4 年度 3 事業支部総会開催状況
- (7) 本部事務局職員入局について
- (8) その他
 - ・事務局改革委員会（仮称）設置について
 - ・協会役員名肩書き入りの名刺作成について
 - ・役員新人事の通知について

II. 議 案

第 1 号議案 第 24 回通常総会の進行予定について

第 2 号議案 平成 4 年度本部委員会委員長及び事業支
部支部長人事（案）承認の件

第 3 号議案 顧問委嘱契約締結承認の件

第 4 号議案 後援・協賛名義承認の件

第 5 号議案 入会及び退会承認の件

第 6 号議案 議事録署名人選任の件（2 名）

5. 議 事

野村事務局長より「理事総数 15 名中、本人出席 11 名、
委任状 4 名で本理事会は成立した」旨報告がなされた。
引続き、長岡理事長が議長となり議事に入った。

I. 議 案

第 1 号議案 第 24 回通常総会の進行予定について

議長は、第 1 号議案について野村事務局長に説明を
求めた。事務局長は第 24 回通常総会の進行予定（案）
について資料に基づき説明した。その中で、昨年 8 月
定款が改定されたのに伴い、本総会の議長は、定款第
23 条により理事長があたる旨補足説明した。なお、正
会員現在数と発送数の差異については、今後の検討事
項とした。

議長は、第 1 号議案につき理事会の承認を諮り、異
議なく承認された。

第 2 号議案 平成 4 年度本部委員会委員長及び事業支
部支部長承認の件

議長は、第 2 号議案について野村事務局長に説明を
求めた。事務局長は、本部委員会委員長については、
担当理事が各々の委員長を指名したものである。また、
事業支部の支部長については、各事業支部が、選挙等
により選出したものである旨説明した。

議長は、第 2 号議案につき理事会の承認を諮り、異
議なく承認された。

第 3 号議案 顧問委嘱契約締結承認の件

議長は、第 3 号議案について野村事務局長に説明を
求めた。事務局長は、従来本部事務局で行ってきた会
計処理の一部を、今回の決算を契機として、外部の会
計事務所に委託し、電算処理するもので、これにより
事務の合理化と正確性が増すものである。そのため平
成 4 年 5 月度より向う 2 年間、三宅会計事務所と顧問
委嘱契約を締結したい旨説明した。なお、これまで顧
問を委嘱した小野木事務所については、平成 3 年度限
りで解約することとする。

議長は、第 3 号議案につき理事会の承認を諮り、異
議なく承認された。

第 4 号議案 後援・協賛名義承認の件（5 件）

議長は、第5号議案について野村事務局長に説明を求めた。事務局長は、各々の資料に基づき、実施予定について説明した。

議長は、第5号議案につき理事会の承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

○「インテリアプランニング賞'92」 主催 (財)建築技術教育普及センター ('92年4月1日～'93年3月31日)	協 賛
○第5回国際デザインキャンプ'92-松本 主催 (財)国際デザイン交流協会 ('92年8月1日～2日)	協 賛
○国際家具デザインフェア旭川'93 主催 国際家具デザインフェア旭川開催委員会 ('92年4月22日～'93年10月31日)	後 援
○平成4年度 環太平洋デザイン交流事業 主催 (財)国際デザイン交流協会 ('92年11月3日～6日)	協 賛
○'93山形グリーンデザインング 主催 山形グリーンデザインング実行委員会 ('92年4月1日～'93年3月31日)	協 賛

第5号議案 入会及び退会承認の件

議長は、下記18件について野村事務局長に内容の概括説明を求め、事務局長は各々の資料に基づき説明した。

議長は、第5号議案につき理事会の承認を諮り、いずれも異議なく承認された。

入 会 正会員 6 件

氏 名	支部	保 証 推 薦 者
近 藤 寛 美	関東	島崎 信 ・ 山田 隆二
富 岡 悠紀子	"	山本 棟子 ・ 須長壮太郎
小 林 康 子	"	西沢 圭三 ・ 樋浦 洋行
片 山 要	"	山本 信 ・ 真下 優子
肆 矢 伸 子	"	中川 帛子 ・ 松原 文子

窪 田 喜美子	"	宮代 紀子 ・ 中川 帛子
---------	---	---------------

退 会 正会員 7 件

氏 名	支部	
福 田 耕 生	関東	
相 沢 光 義	"	
星 野 節 子	"	
伊 東 和 彦	"	
近 藤 均	"	定款8条2項(4)による
三 浦 謙	"	"
三 上 善 之	"	"

退 会 賛助会員 5 件

氏 名	支部	
(株) 高 畑	関西	
三菱電気ハラム(株)	関東	
日 輝 工 業 (株)	関西	
三和シャッター工業(株)	関東	
(株) トヨマビジネス	関東	

第6号議案 議事録署名人選任の件

議長は、議事録署名人に山口道夫、山崎 晶両理事の選任につき理事会に承認を諮り、異議なく承認された。

(社)日本インテリアデザイナー協会1992・第1回理事会に関し、定款第28条の定めるところに基づき、議事経過及び議決事項を記すため、議長と議事録署名人がここに記名捺印する。

議 長 長 岡 貞 夫 印
議事録署名人 山 口 道 夫 印
議事録署名人 山 崎 晶 印

1992・第1回理事会出席者

長岡 貞夫、栢原 秀榮、山本 棟子、中川 帛子、
浅野 盛治、中川 千年、川上 信二、山口 道夫、
森谷 延周、山崎 晶、宇賀 敏夫

理事総数15名中15名（本人出席11名、委任状4名） （委任状）泉 修二、渡辺 優、山品 元、柿本ひろ
監 事 榎田 均、金子 誠之助
事務局長 野村 禮七郎

（順不同 敬称略）

次回1992・第2回理事会は、平成4年7月8日（水）
東京で開催の予定。

II. 報告事項

議長は、報告事項(1)及び(3)～(8)について、野村事務局長に、(2)について榎田監事に報告を求め、それぞれ下記の通り報告した。

(1) 選考委員会報告

平成4年4月8日開催の1991年「協会賞」第2次審査の結果、下記2件を決定した。

- ・中川 千早（作品）「タペストリーを中心としたインテリア空間への展開」
- ・宮本 茂紀（業績）「長年にわたり家具の試作・開発モデラーとしての活動」

(2) 平成3年度会計監査完了報告

平成4年4月22日、本部事務局において榎田監事により会計監査を実施した。立会人は、小野木会計顧問が都合により欠席のため、平成3年度の決算報告書作成を委嘱した税理士荒木東一氏にお願いした。他に野村事務局長が出席した。監査結果は別紙の通り。

(3) 平成4年度権利停止予定者

前年度の年会費未納者、正会員8名、賛助会員4社に対し、会員規定第12条により、向う6か月間、会員としての権利を停止する旨、資料により説明した。

(4) 川崎 浩理事 勲五等瑞宝章叙勲

昨年11月にJ I Dより叙勲を申請した川崎 浩理事に対し、平成4年4月29日付で勲五等瑞宝章を授与する旨、通産省貿易局長より通知があり、5月14日通産省で授与式が行われた。

(5) 関連団体関係

- ・理事長交替（5月27日付）

（社）日本パッケージデザイン協会

新理事長 金子 修也氏 前理事長 村 禎介氏

- ・社団法人化（4月17日付）

（社）日本インテリアファブリックス協会設立

会長 島田 清隆氏

- ・人事異動（5月1日付）

（財）名古屋観光コンベンションビューロー

参事 中野 秀雄氏、

コンベンション部長 加藤 正嗣氏

(6) 平成4年度3事業支部総会開催状況

中部事業支部 5月23日（土）名古屋市内

関西事業支部 5月22日（金）大阪市内

九州事業支部 4月5日（日）北九州市内

(7) 本部事務局職員入局について

- ・高木 久美、平成4年5月11日、経理事務員として試雇採用。

(8) その他

- ・理事長の諮問機関として事務局改革委員会（仮称）設置について。
- ・役員などが国際的にも使用できる肩書き入りの名刺の作成について。
- ・役員の新人事の通知について。
新役員の就任挨拶状を至急作成し、発送する。
- ・国際委員会、中部事業支部、九州事業支部の活動状況について、各々の資料が配布された。

議長は、報告事項(1)～(3)及び(7)、(8)について理事会の了承を求め、理事会はこれを了承した。

なお、議長は、(3)について、定款変更により、権利停止の対象期間が変更になったことを、会員に周知徹底するよう事務局長に命じた。

以 上

役員就任にあたって

理事就任にあたって

本部国際委員会担当理事 中川 帛子

早いもので、私が会員になって20余年がすぎます。会員番号 246、女性会員が僅か5名の時代の入会でした。間もなく会員が千人になろうとしているこの時期に、会員各位のご推挙により、自分が理事会の末席を汚すことになろうとは思ひも掛けない事でした。250名程の時代とは違い、現在は、組織が協会を動かす時代です。協会の委員会の数も10を越え、本部及び支部の活動が活発になってきております。

I F I ををはじめとする協会が関わる国際的な活動の窓口として、今期の国際委員会担当を仰せつかりました。これまで海外は我々が情報を求めて出向いていく所でした。しかし今、海外がこちらに出向いて来る時代です。その意味でも I F I の総会招致は、極めて象徴的な事業と言えます。又、韓国、台湾、日本を中心に結成された A P S D A の今後の動きには I F I も強い関心を寄せています。

一方、海外からは日本のデザイン市場を求めて建築家やデザイナーが続々来日しており、在日の各国大使館が積極的にサポートしています。これはとりもなおさず、国際的な競争者の参入であり、他方、国際的な共同作業の可能性の拡大でもあります。国際的が日常化し始めている今日、先にご案内致しました、I F I が呼びかけてきた F R I E N D O F I F I は、個人のレベルで国際的なネットワークに参加出来るタイムリーな企画です。J I D を通して提供されるこのよう情報や、コンタクトの要請を会員各位に有効に伝達し、国際的なコミュニケーションの円滑な流れに寄与する事が国際委員会の役目と考えております。

今期は I F I ' 95 名古屋の準備という大事業を控え、身の引き締まる思いです。会員各位のご協力とご理解に支えられ、微力を尽くす所存です。宜しくお願い致します。

理事就任にあたって

本部交流委員会及関東事業部担当理事 浅野 盛治

まったく思いがけず新米の理事になった上、二つの役職

を申しわたされて大変緊張しています。とはいえ、もともと先輩諸兄にお世話になった分をいくばくなりともその恩にむくいるつもりで後輩の役に立てばと思ってはじめて J I D の活動ですので、これからも自然体で、出来る範囲で最善をつくさせていただくつもりですので、先輩諸兄はもとより、後輩の皆様の御支援をお願いいたします。

支流委員会については、支部活動が J I D の基本と考えておりますので、支部の方々が出来ただけ活動しやすいように、又支部会員の意見が本部に反映することが出来るようパイプ役を務めるとともに、支部として支部では関係しにくい役所関係や他デザイン団体との交流促進に務めたいと思います。

尚交流委員会支部委員長会議を東京以外の支部で開催し、その際は出来るだけ多くの支部会員が参加できるようイベントをからめたオープンな会にしたいと思います。

本部委員長は藤村盛造さんをお願いしていますが、賛助会員を含め幅広い委員を集めています。各支部において推薦なさりたい方がありましたらぜひお知らせ下さい。

関東事業支部につきましては、この2年間のうちに、支部内規の制定と会員による代議員選出と代議員選出による役員の決定を行うことが第1と考え、このことが支部活性化へつながるものと確信しています。一人一人の参加意識が J I D の活性化につながり、アジアにける初の I F I 総会会議を成功させる源と思っていますのでよろしくお願い致します。又このことはインテリアデザイナーの地位の向上にもつながることですから、お互いがんばりましょう。

又支部内の事業として、実に静岡県から北海道まで関東事業支部というのでは、風通しも悪く、支部内の活動も東京地区中心にどうしてもなりがちなので、新しい方法を考えていきたいと思います。特に北海道地区は、日本における主要な家具産業の地でもあり、特に東京から遠いことも考え、前向きに会員各位の考えをきいていきたいと思えます。

私の考えでは、J I D の組織は本部から支へというものでなく、会員相互の話し合いが、スライド勉強会が、研究会が、又おたがいのインテリアデザインの熱情がまとまった波となって J I D を動かしていくものと思います。

私自身これからどうあるものか確信をもっているわけはありませんが、外国人デザイナーの日本での活動及び売込み、インテリアエレメントの輸入の増大等私達を取りまくインテリア環境は大きく変化しています。この時代をの

りこえるものは、私達一人一人のデザイナーのデザイン意識の確立だと思います。お互いに国際化にそなえて勉強したいと思います。そして国際交流として、外国人デザイナーの日本での活躍と同じように、私達も国外でおおいに活躍する時代となってきたと思います。

理事就任のご挨拶に替えて

本部展覧会委員会及び関西事業支部担当理事 山口 道夫

この度新しく理事に就任致しました。本部展覧会委員会と、関西事業支部を兼務担当することになりました。今後とも宜しく願いいたします。

J I Dは33年間の年月を経過して今日に至っておりますが、その間名実共に日本を代表する協会として成長出来たのは、多くの先輩諸兄の努力とたゆみない活動の継続の結果であり、今日の確固としたJ I Dの存在につながっているわけです。私達会員はその姿をより良い形にしてゆくことも一つの使命であると考えているものです。

現在、対社会的にも当協会の果たす役割はますます大きく、多面的になってきていると言ってよいでしょう。インテリア関連業界はますます高度な知識集約型の創造になりつつあり、我々J I Dの創造的活動に寄せられる期待は、単に国内だけの留まらず国際的にも大きなものがあると言えます。

特に1995年に名古屋で開催される「第17回 I F I 総会」は、社会的にも反響が多大になると予想されますし、一般の人々のインテリアに対する関心も改めて増大するものと予測されます。J I Dの社会的認知といった側面から見ても、その活動は注目される事となるでしょう。

また私達会員としては、生涯で一度だけ日本で経験することのできるインテリアのビックイベントになることと思います。多くの意味を含めて主催国の団体として、是非とも成功させなくてはなりません。今後の3年間はそのため計画や準備、推進に、J I Dとしては総力を上げて取り組む必要があります。全会員の協力が必要であると考えます。

また当然の事ながら通常の活動が必要なことは言を待ちません。多くの事業がありますが、J I Dの事業の中でも対外的にクリエイティブなスタンスでの、アプローチ性の

強い重要な柱の一つに展覧会事業があります。事業計画の具体案については会員のご意見も聞きながらいづれ発表させていただく予定です。展覧会委員会担当理事と致しまして、本部展覧会委員長、各支部展覧会担当委員長を始め、会員各位の協力を今後とも是非お願いしたいと存じます。

また事業展開には各委員会との横の連携を密にし、J I Dの総合力を発揮して実り多いものにしたいと考えております。この点もよろしくお願いいたします。

関西事業支部担当といたしまして、今いくつかの巨大プロジェクトを抱えている関西エリアにあって、今後ますますの活躍が期待されている関西事業支部会員と、本部間の情報交換のスムーズな橋渡しをさせていただきたいと思っております。

願う事が多くなりましたが、会員諸氏の協力がなければ何事も実行できません。理事としての任務は極力努力して参る覚悟で居ります。今後とも宜しくご指導ご鞭撻くださいますようお願いいたします。

監事就任にあたって

監事 金子 誠之助

このたび役員改選により、はからずも監事の大役をお引受けすることになりました。今までは関西・九州両支部の委員として、支部運営にたずさわって来ましたが、九州支部では当時の坂本支部長を中心に、少人数の支部運営の困難もありましたが、全支部会員の骨を惜しまない働きと、まとまりの良さ等、少人数の運営の良さを経験致しました。関西支部では総務委員としての役割を中心に、関西で実施された各行事や「J I D創立30周年記念事業」の運営に参加してきました。

今までの支部での経験を土台に、本年度から予算規模の拡大もあり、本部事業の推進と、特に「I F I 第17回国際インテリアデザイン会議/名古屋」開催準備や、各事業支部の運営が少しでも円滑に実施できるよう、監事として役割を遂行したいと思います。今後共皆様のご協力をお願いいたします。

事業支部支部長就任にあたって

支部長就任にあたって

関東事業支部支部長 小坂希八郎

この頃、車や電気製品には飽きてきたような気がします。つぎつぎに新製品がでて、せっかく苦勞して買ったものがすぐに陳腐になってしまうということもあるのですが、「もの」を持っているだけでは満足できなくなってきたのではないと思っています。

いま、世の中は豊かな、潤いのある生活を求めていると、お役所を含めて、あちこちでいわれるようになってきました。働くことへの価値観が大きく変化しており、ある調査によると、人生の中心は余暇であるとする人が34%あり、仕事する人の31%を上まわるようになってきているのだそうです。

このところ騒がしい「時短」に現わされるように、企業中心から個人生活中心になってきているようです。通産省の生活産業審議会から近々そうした提言がだされるようですが、「もの」に重きをおいていた時代から、今後はさらに「生活」そのものを大事にするようになっていくに違いありません。

これを私たちの関わっているインテリアデザインにおきかえていえば、「もの」から人の生活を支える「空間」そのものを豊かで、ゆとりのあるものにする方向にあるといっています。

I F I ' 95名古屋の開催される3年後には、まさにそうした時代が到来しているに違いありません。このようにJ I Dが大きく飛躍する時期に差し掛かったいま、協会のお手伝いをさせて頂けることには、大変な重責をおおせつかったものと、改めて責任の重大さを感じております。私も仕事中心にやってきたいままでを反省し、J I Dの仕事も生活を豊かにすることであると思い、「生活」中心に切り換える手段の一つとして、多少なりとも皆様のお役にたてるように頑張りたいとおもっています。よろしくお願いいたします。

支部長就任にあたって

中部事業支部支部長 池田 高明

このたび支部長に就任いたしました。折しも3年余の後

に開催の世界インテリアデザイン会議（I F I ' 95名古屋）という大きな目標を控え、協会全体も俄かに活気を帯びてきた感があります。中部事業支部でも、開催地が名古屋ということもあり、会員全員の意気も高まりつつあります。この様な時期での就任に、身の引締る思いがいたします。

この会議は、ご承知の様にアジアで初めて開催されるわけで、J I Dにとっても歴史的なイベントの一つに挙げられるわけですが、これは同時に協会の社会への貢献や理解を深めるための絶好の機会でもあるわけです。

中部事業支部としましても、これを機に支部活動の一層の活性化、会員相互の理解と親睦を深めていきたいと考えております。

また、他事業支部との連携をこれまで以上に密にすることにより、協会の組織活性化及び発展と、同時に、世界インテリアデザイン会議の成功が実現するといっても過言ではないと思います。

この様な視点から、微力ではありますが、精一杯努力していく覚悟でおります。

どうか今後共、よろしくご指導、ご鞭撻を頂きますようお願いいたします。

新支部長就任にあつての抱負

九州事業支部支部長 鐘ヶ江 茂則

私たちの生活の回りを見ると、社会の組織化、産業、文化の質的高度化や教育の見直し等、住みよい社会になるためのデザイナーの仕事は山積みされています。デザインはその全てにおいて重要性を増し、今後もお進展していくことは明らかであります。

デザイナーの役割についても、ミニマムからマキシマムにいったた、広い範囲での活動が求められてきているのです。

消費の図式においても、豊かな情報の中から自分の生活のシーンや感性に合わせて消費していく時代になってきたのは周知の通りです。（しかし、このままで進展していくことはまだまだ問題も多く残していくことにもなります。）

九州事業支部では、J I D九州事業支部としてのイメージを新たにしないといけないかと思っています。

それは、支部会員数が今期50名を越えること、若さと、知力と、行動力が加わってきたこと、そして、九州各県に

会員の布石ができたこと等、明るい要素が多く芽吹いてきていることであり、近い内には各県ごとのブロック会等が催されることも可能ではないかと思っているのです。

まず、社会や地域との交流をはじめ、社団法人として認められたデザイナーの団体であること、今、自分のために、社会のために、そして子供たちのために、何をしなくてはならないのか、喜びと誇りをもって、その位置づけを明確にしなくてはなりません。

九州の風土気質、地理的条件をも掘り起こして創りあげる地方文化にどの様に拘わっていくか、また立地条件を生かして、アジアとの交流等、デザインを通して深めていく。そのための目標を設定し、研究会、展覧会、講演会を行い、また会員間の知識および経験などの交流を生かして、社会への啓蒙を計ることが必要です。

今、九州の熊本で計画中の「くまもとアートポリス構想」が進んでいます。この構想は、国際的または前途有望な建築家、デザイナーの才能とアイデアを結集して、熊本の環境の質を向上させることを計っております。

九州事業支部としてもこの事業の協賛として、「九州インテリアデザインINくまもとアートポリス」と銘打って一大イベントを計画、準備しております。期間は11月10日から23日まで熊本の県立美術館をメイン会場に、展覧会、セミナー、パーティー、見学会とその内容は多彩です。近く各事業支部への皆様にご案内を申し上げる予定にしています。

それからもう一つは、本部事業としての全員協力となり、I F I '95名古屋委員会への協力だと思っております。この2つの実施を中心に、支部内での計画等、推進していくつもりです。

九州事業支部では、月例会を行ってきています。遠い所からの出席者もあり、その内容を魅力あるものにするための方策を皆んなで創り出していきたいと思っております。

その基本として、まず会員間の交友があげられます。信頼と協力があれば何ごとにも可能であり一つ一つの積み重ねが位置づけを明確にしていくからです。

九州事業支部としても、まだまだ初期の段階にあるがために、今後の活動のあり方によっては素晴らしい九州地域でのデザイン活動が行われてくる可能性が十分にあると思っています。

最後に、支部長としての業務遂行に不向きな私を選ばれたこと、支部会員の方々の大きな誤りであったと思います。

支部会員の皆様の総力を得られるよう努力することが私の課題ではないかと思っています。皆様よりしくお願いします。

本部委員会の動き

『新組織委員会から』

組織委員長 山本 其観代

六月に入り、各事業支部の組織委員長が決まりましたので、本部委員会も正式発足となりました。

新委員会としましては、前委員会の路線を受け継いで、周囲の状況を考えあわせながら地道な活動から初めていきたいと考えております。

前々年度からの継続目標 —— ①新入会員の勧誘、会員の拡充も富田卓司前組織委員長や各委員のご尽力により達成されたことをご報告いたします。

それに加えて、②入会時に提出される現行の入会申込書の様式が、時宜に適さないのではという意見が以前からあり、この件についても前委員会により、具体案が理事会に報告されています。

以上を申し送り事項として、新委員会は、事業を引き継いでいくことになりました。

そこで、通常総会議案書の事業計画にも示されている項目

- ① 組織の拡充
- ② 組織の充実
- ③ 入会書式の製作

が、本年度の柱になります。

どちらかと言えば、当委員会は地味な存在ですが、いずれの団体にとりましても組織固めほど大切なことはないと思われれます。

とりわけ、バブル経済の崩壊で外部状況は、殊のほか厳しい状況にあります。

協会創設以来、かつてないほど大型化した現在の組織をさらに大きく、充実させていくには、同時発足した他の委員会や事業支部、それに、なによりも会員一人ひとりのきたんのない自由なご意見等を積極的に反映させ、組織固めのため、事業活動を進めてまいりたいと思っております。どうぞ、ご協力のほどよりしくお願いいたします。

全会一致にて承認

◇第6号議案 平成4年度収支予算案

質問3件 支部機関紙発行の予算について交流、広報、出版の項の収入について、また12月に予定している展覧会の予算をどうするのか、などあり、小宮財務委員長より答弁し、ほかに異議なく、全会一致にて承認

◇第7号議案 加入団体役員選出の件

全会一致にて承認

◇その他報告事項：浅田支部長

- ・IFI'95 総会名古屋について
- ・IFI'93 総会グラスゴーについて
- ・アセアンセンターに千田会員を派遣
- ・会員移動報告 別ページ参照

閉会の辞 山口展覧会委員

◆これ以後、懇親会とし、賛助会員のごあいさつや、新正会員の自己紹介などをおこない、42名もの参加により、盛会のうちに終了。

特に閉会のご挨拶に立たれた、富田卓司氏は、益々創作に励み、長年描かれていた絵画の世界でも、新たにチャレンジするとのお言葉があり、全会の拍手を得られていました。

平成4年6月11日(木)

大阪デザイン団体連合総会・懇親会

於：大阪国際ホテル

- ・平成3年度事業報告、決算 審議承認
- ・平成4年度事業計画、予算 審議承認
- ・平成4年度役員選出

JID会員の役員就任

評議員：長岡貞夫理事長

監査役：川崎 浩名誉理事

顧問：樋口 治名誉理事

理事：栢原秀榮副理事長

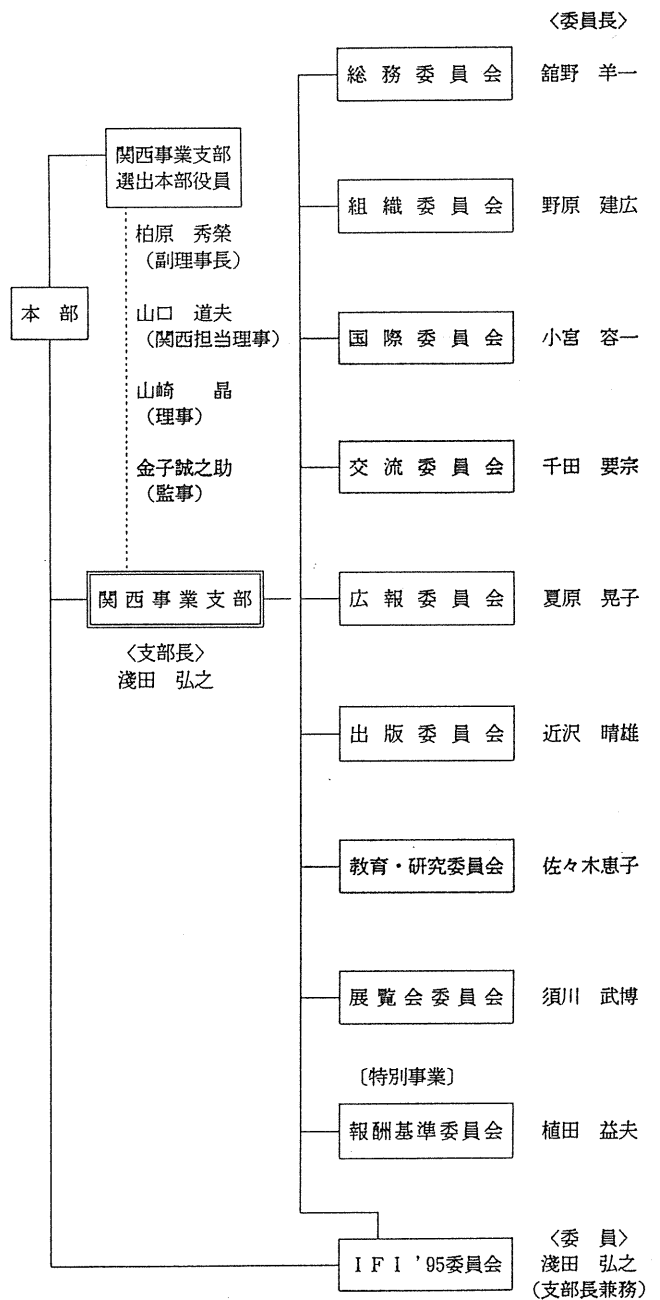
幹事：浅田弘之関西事業支部長(常任幹事)

代議員：山崎 晶理事

- ・懇親会は近畿通産局、大阪府、市、(財)国際デザイン交流協会、(財)大阪デザインセンターなどからも多数の出席があり、盛会であった。

総務委員長 館野 羊一

平成4・5年度 関西事業支部運営組織表



九州事業支部の動き

九州事業支部長 鐘ヶ江 茂則

九州事業支部の支部総会は、4月5日、春爛漫好天の中で、北九州市にて開催となった。正午より北九州国際会議場、北九州市立中央図書館、歴史博物館、視聴覚センターと同市にある、磯崎新氏設計の作品を見学し、午後3時より総会を開いた。

第1号議案の前年度の報告から第5号議案までの審議が行われた。特に今年度は役員の改選の年で、選挙による新役員の発表があり、審議の結果全員でこれを承認し、各々の事業に取り組むことに決定した。

その後、北九州市の鈴木会員より、北九州市が進めている「紫川マイタウン・マイリバー」構想の説明があり、新しい地域の開発の一端を知ることができた。

開会后、今風家庭料理シリンにて懇親会を催し、今風家庭料理の味を楽しみ、新年度の抱負を語りあい19時頃散会となった。

5月29日第1回の例会を行う。新組織による今年度の出発である。支部長及び各委員長に抱負を語ってもらう。

今期の事業については、支部総会で承認決定された事業を中心に進めていく。

1. 展覧会事業
2. 地域イベントへの参加
3. 交流会の開催
4. 例会の定期的運営

各委員長の抱負をいくつか挙げると、
国際的交流を深めるための活動

I F I '95名古屋委員会への協力及び活動参加
地域との交流

パソコン通信を通じて情報を密にする。

新入会員の勧誘

アートポリス事業に関する広報と出版

各会員 個展等の支援

支部会報の作成（3～4ヶ月に1回の割で）

以上の様な委員長の発表があった。

しかし、今期最大のイベントは、やはり「九州インテリアデザインINくまもとアートポリス」と銘打っての事業で、支部全員参加としている。

事業概要

1. 名称：九州インテリアデザインINくまもとアートポリス
2. 開催期間：'92年11月10日～11月23日
3. 会場：熊本県立美術館別館（展覧会）
セミナー会場：熊本県立美術館講堂
パーティ会場：壱乃倉庫（約150名）
見学ツアー（くまもとアートポリスの特別コースを紹介）

※セミナー、パーティーの期日11月14日（土）

見学ツアー11月15日（日）

各支部からの参加を期待すると同時に、密度の高い内容

にしていく様努力していきます。

この事業を通して感じられたことが多々あります。まず支部間のコミュニケーションです。展示に要するモノで共通性のあるもの等をどのように作るか、考え方、方向性等各支部の委員長間での交流があれば良い結果が生まれることなど今後の課題ではないかと思っています。

平成4年度 九州事業支部 支部委員長・副委員長

委員会	委員長
総務委員会 （財務委員会）	石井信義 伊藤邦隆
組織委員会	山永耕平
国際委員会	北村新比古
交流委員会	松本豊
広報委員会	森宣雄
出版委員会	森田紘章
教育・研究委員会	飯田博
展覧会委員会	酒井博幸
I F I '95 委員会	鐘ヶ江茂則

受賞にさいして

◇川崎 浩（名誉理事）

平成3年度の最後の理事会は3月31日でした。その前日の夜に、叙勲内示の連絡を事務局より受けました。協会の発足以来30年近い理事歴の本当の最後の理事会でした。それだけに喜びも一入です。

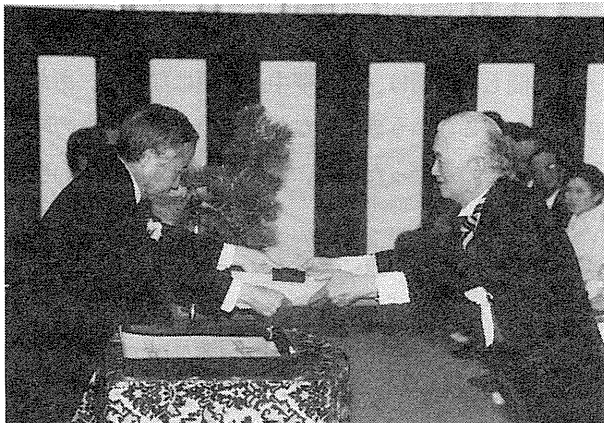
丁度10年前、60歳になった時藍綬褒章をいただいたのですが、今回も勿論、協会の推薦によるものです。私の栄誉というよりむしろ関係官庁（通産産業省・総理府賞勲極）が協会の業績を多としているからであり、口巾ったいようですが、協会を代表して、私が代わっていただいたと思っています。

3年先に、I F I の総会が名古屋で開かれます。今まで思いもよらなかった事業活動が国際的になってまいりました。高度成長も一段落し成熟した社会を迎えようとしています。私共インテリアデザイナーの真価が問われる時が来たと言えるでしょう。

理事長はじめ会員の皆様方の益々のご健勝をお祈りいたします。（川崎 浩）

川崎 浩 略歴

- ・大正11年 大阪府生まれ
- ・昭和18年 大阪青年師範（現 大阪府立大学）卒
- ・昭和26年 (株)大丸入社
デザイン室長代理、設計部長歴任
- ・昭和54年 定年嘱託（昭和60年まで）
- ・Y S -11機内デザイン、新宮殿関係、大阪万博関連など
- ・(株)日本インテリアデザイナー協会名誉理事
大阪芸術大学デザイン学科講師
堺デザイン協会理事長
昭和57年11月藍綬褒章受賞
平成4年4月勲五等瑞宝章受賞



渡部通産大臣より叙勲を受ける川崎名誉理事

◇大泉 博一郎 (名誉理事)

この度私が国井喜太郎産業工芸賞を受賞いたしましたについては、J I Dの強力な御推奨があつての事と存じ有難く感謝しております。

その受賞祝賀会をJ I D主催で国際文化会館で開き私をお招き下さいましたことは身に余る光栄と感謝いたしました。

当日はJ I D創立以来の同志の方々、その意志を引きついで発展させ今日のJ I Dをつくりあげた方々と御面談することができて89の年齢を重ねた私にとっては生涯の喜びと存じました。

多数御参集下さった方々と充分にお話を交わすことができず失礼申し上げた方もあったかと遺憾に存じますが、J I Dをあげの御厚意をしみじみと感じました。又理事会からは私の上京について思いもかけぬ御援助を賜りまことに

恐縮に存じました。

病氣以来辺地に蟄居して5か年東京の変貌には一驚いたしましたが、地方には都会では消失した世界が存在して私の古代宗教造形の研究が役に立って信仰の造形に新しい道を拓く希望を持っております。21世紀まで足を踏み入れることは私にとって不可能ですが、J I D会員としての努力を皆様と共に進むつもりでございますから、今後もよき道連れとして頂きたいをお願い申し上げます。

1992年5月31日

大泉 博一郎

○主 催 (財)国際デザイン交流会

○応募作品受付締切 '92. 12. 25必着

○募集内容

テーマ 「風: Wind Air」

美しき環境を求めて、テーマ“風(kaze)”を提案し、新しい“風のデザイン”を期待している。

○賞

大賞（内閣総理大臣賞）1点 35,000 米ドル

金賞（通産大臣賞）1点 11,000 米ドル

大阪府知事賞 1点 11,000 米ドル

大阪市長賞 1点 11,000 米ドル

'93GREEN DESIGNING IN YAMAGATA

- 主 催 山形グリーンデザイン実行委員会
- 応募登録締切 '92年11月30日必着
- 募集テーマ
「グリーンデザイン（環境にやさしいデザイン）」
- 応募対象作品

奨励賞 12点（ " 10万円）

入 選 最終審査の対象となった作品

○審査員 栗津 潔 ほか4名

○問合せ先

山形グリーンデザイン実行委員会事務局

〒990 山形市松波2-8-1 山形県商工政策課

TEL: 0236-30-2360 Fax: 0236-30-2128

会計事務処理をコンピューター化

—三宅会計事務所とタイアップ—

従来本部事務局の会計処理は、振替伝票、金銭出納帳、

事業では管理費または各委員会別）が必要となりますので
事務局に報告する際は、発生する費用について、委員会別
や使用目的を明記の上、お送り下さるようご協力をお願い
いたします。

事務局入局にあたって

高 木 久 美

こんにちは。

高木 久美です。

本年5月11日に、入局致しました。

入ってすぐ総会の準備に追われ、2ヶ月分たまっている
という経理の仕事が、ほとんど出来なかったのが、かなり
ヤキモキしましたが、やっと何とかかたづける事が出来ま
した。

入って間もない頃は、無我夢中。今頃になって、ああ、
あの手続きはこういう事につながっているのか、あの時あ
あしたのはこの為だったのか、というような事に思い当る
ようになりました。

まだまだ、肩の力が抜けませんが、そのうち慣れるだろ
うと思います。

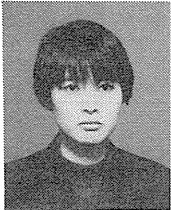
幸い事務局長も、田口さんも、良い方なので何とか頑張
っていきたいと思っています。

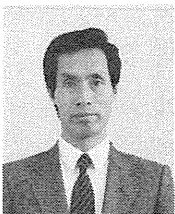
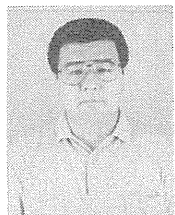
まだ2ヶ月、やっと2ヶ月たったところです。まだまだ
よくわからぬ事もあり、会員の皆様にもうまく対応出来ぬ
ところもあるかは存じますが、今後ともよろしくお願い
申し上げます。

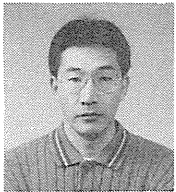
新入会員の紹介

●新入会員

(正 会 員)

会員名及び番号		住 所 及 電 話
いし かわ のぶ こ 石 川 暢 子 (会員番号 986) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株) イトーキ 東京都中央区明石町 6-4 ニチレイ明石町ビル 〒104 TEL 03-3566-5512 FAX 03-5565-4631 東京都中野区鷺宮 1-4-18-103 〒165 TEL 03-3223-9273 合 田 正 甫 ・ 伊 吹 弘
はやし ち か こ 林 千 賀 子 (会員番号 987) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株) イトーキ 東京都中央区明石町 6-4 ニチレイ明石町ビル 〒104 TEL 03-3566-5512 FAX 03-5565-4631 東京都保谷市富士町 4-10-5 〒202 TEL 0424-63-6579 合 田 正 甫 ・ 伊 吹 弘
い と う ひろ あき 伊 藤 博 昭 (会員番号 988) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株) イトーキ 東京都中央区明石町 6-4 ニチレイ明石町ビル 〒104 TEL 03-3566-5519 FAX 03-5565-4631 東京都世田谷区玉川 3-23-26 マイコート二子玉川201 〒158 TEL 03-3707-6841 合 田 正 甫 ・ 伊 吹 弘
とく まる ひろ こ 徳 丸 裕 子 (会員番号 989) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株) イトーキ 東京都中央区明石町 6-4 ニチレイ明石町ビル 〒104 TEL 03-3566-5512 FAX 03-5565-4631 東京都世田谷区等々力 6-11-15 等々力ビューハイツ506 〒158 TEL 03-3701-6286 合 田 正 甫 ・ 伊 吹 弘

会員名及び番号		住 所 及 電 話
なつ め ひで とし 夏 目 英 寿 (会員番号 990) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株) イトーキ 東京都中央区明石町 6-4 ニチレイ明石町ビル 〒104 TEL 03-3566-5322 FAX 03-5565-4636 東京都練馬区春日町 4-25-33 〒179 TEL 03-3970-5744 合 田 正 甫 ・ 伊 吹 弘
ふじ かわ さと え 藤 川 聡 恵 (会員番号 991) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株) イトーキ 東京都中央区明石町 6-4 ニチレイ明石町ビル 6F 〒104 TEL 03-3566-5512 FAX 03-5565-4631 東京都豊島区巣鴨 4-33-2 藤川ビル 5F 〒104 TEL 03-3917-6664 合 田 正 甫 ・ 伊 吹 弘
いく た あき こ 生 田 晶 子 (会員番号 992) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株) イトーキ 東京都中央区明石町 6-4 ニチレイ明石町ビル 〒104 TEL 03-3566-5512 FAX 03-5565-4631 東京都杉並区松庵 3-26-9 〒167 TEL 03-3335-5636 合 田 正 甫 ・ 伊 吹 弘
さ とう みゆ き 佐 藤 みゆき (会員番号 993) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株) イトーキ 東京都中央区明石町 6-4 ニチレイ明石町ビル 〒104 TEL 03-3566-5512 FAX 03-5565-4631 神奈川県横浜市港北区日吉 2-6-9-202 〒223 TEL 045-561-0467 合 田 正 甫 ・ 伊 吹 弘
いな がき てつ や 稲 垣 哲 也 (会員番号 995) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	稲垣工芸(株) 北海道小樽市新光 5-9-1 〒047-01 TEL 0134-54-1313 FAX 0134-54-5008 北海道小樽市新光 5-9-1 〒179 TEL 0134-54-1313・FAX 0134-54-1788 山 下 信 ・ 真 下 優 子

会員名及び番号		住 所 及 電 話
こん の かつ ひこ 今 野 克 彦 (会員番号 996) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	コンノカツヒコデザイン事務所 札幌市西区琴似2条6-1-23 琴似2条グランドハイ907号室 〒063 TEL 011-615-6670 札幌市西区西野3条5-7-3-108 〒063 TEL 011-662-9506 山 下 信 ・ 真 下 優 子
くり はら ゆき よ 栗 原 幸 代 (会員番号 997) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株) ホームアンドアート 北海道函館市五稜郭町19-15 〒040 TEL 0138-32-4870 FAX 0138-32-4870 北海道函館市青柳町30-16 〒040 TEL 0138-22-0398 山 下 信 ・ 山 本 桂
おお やま よし ひろ 大 山 芳 弘 (会員番号 998) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	マルカ家具販売(株) 北海道夕張郡栗山町中央1-291 〒069-15 TEL 01237-2-1143 FAX 01237-2-5388 北海道夕張郡栗山町桜丘1-80-57 〒069-15 TEL 01237-2-2228 山 下 信 ・ 山 本 桂
もり た ひろ こ 森 田 博 子 (会員番号 999) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(有) ぐるーぷ せっせっせ 渋谷区神宮前3-42-11-103 〒 TEL 03-3402-6514 FAX 03-3478-8998 目黒区緑が岡1-23-26 〒152 TEL 03-3724-6444 下 島 資 子 ・ 黒 田 秀 雄
むら た よし のり 村 田 良 憲 (会員番号 1000) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	村田デザイン事務所 熊本市花立3-168 〒861-21 TEL 096-369-5777 FAX 096-369-5240 熊本県下益城郡城南町鰐瀬180 〒861-21 TEL 0964-28-3634 松 本 豊 ・ 酒 井 博 幸

会員名及び番号		住 所 及 電 話
すえ なが まさ こ 末 永 眞佐子 (会員番号 1001) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(有) ワ ズ ワ 東京都渋谷区恵比寿 1-7-2 ビスオクビル 2-42 〒150 TEL 03-3449-7751 FAX 03-3449-7752 東京都渋谷区恵比寿 1-23-21 ヤマトビル 405号 〒150 TEL・FAX 03-3280-7998 長 岡 貞 夫 ・ 行 方 ひふみ
てら しま ちえ こ 寺 島 千枝子 (会員番号 1002) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(有) ワ ズ ワ 東京都渋谷区恵比寿 1-7-2 ビスオクビル 2-42 〒150 TEL 03-3449-7751 FAX 03-3449-7752 東京都目黒区鷹番 3-21-8 〒152 TEL 03-3716-5670 長 岡 貞 夫 ・ 行 方 ひふみ
すぎ むら く み 杉 村 久 美 (会員番号 1003) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	熊本県下益城郡松橋町松橋1436 コーポ宇賀岳101 〒869-05 TEL 0964-33-5313 熊本県下益城郡松橋町松橋1436 コーポ宇賀岳101 〒869-05 TEL 0964-33-5313 稲 田 慎 一 ・ 酒 井 博 幸
かね こ たえ こ 金 子 妙 子 (会員番号 1004) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	金子建築工業㈱ 岐阜県恵那市長島町正家827 〒509-72 TEL 0573-25-5321 FAX 0573-25-5324 岐阜県恵那市長島町正家827 〒509-72 TEL 0573-25-3083 早 川 昌 直 ・ 宇賀正敏夫
あき やま よう こ 秋 山 洋 子 (会員番号 1005) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	秋山事務所 大阪府中央区南船場 3-2-13 安栄ビルNo.3 〒542 TEL・FAX 06-251-6062 大阪府西区江之子島 1-6-8 〒550 TEL 06-447-0644 川 崎 浩 ・ 森 宣 雄

会員名及び番号		住 所 及 電 話
の だ みち たか 野 田 道 隆 (会員番号 1006) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株) 西武百貨店 建装部 東京都豊島区南池袋1-16-22 西武流通事務館 〒171 TEL 03-3987-8275 FAX 03-3985-8080 埼玉県所沢市並木8-1-2-905 〒359 TEL 0429-93-1066 長岡 貞夫・関口 英子
もち づき やす こ 望 月 靖 子 (会員番号 1007) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(有) インプレス 静岡清水市横砂本町22-13 〒424 TEL 0543-64-3097 FAX 0543-67-4992 静岡清水市横砂本町22-13 〒424 TEL・FAX 0543-64-3097 長岡 貞夫・小玉 靖子
てら い よう すけ 寺 井 洋 介 (会員番号 1008) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(有) ユニチカ 大阪市中央区久太郎町4-1-3 〒541 TEL 06-281-5008 FAX 03-281-5859 京都市西京区上桂三ノ宮72-1 〒615 TEL 075-381-4346 栢原 秀 榮・近 沢 晴 雄
あさ た たか こ 朝 田 孝 嘉 子 (会員番号 1009) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株) テラソー 石川県金沢市東蚊瓜町1-33-1 〒920-02 TEL 0762-38-1226 FAX 0762-38-1399 石川県金沢市小立野3-23-27 オリンピアム301 〒920 TEL 0762-24-2286 栢原 秀 榮・近 沢 晴 雄
こん どう ひろ み 近 藤 寛 美 (会員番号 1010) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	Studio C ² (スタジオシーツー) 武蔵野市吉祥寺本町1-30-7 吉祥寺ビューハイム107 〒 TEL 0422-20-6521 FAX 0422-20-6571 東京都中野区上高田1-26-5 〒165 TEL 03-3360-9073 島 崎 信・植田隆二

会員名及び番号		住 所 及 電 話
とみ おか ゆきこ 富岡 悠紀子 (会員番号 1011) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	日本ホームズ(株) 東京都港区西麻布3-2-19 〒106 TEL 03-3479-7011 FAX 03-3479-7058 千葉県稲毛区柏台1-10-203 山本 棟子・須長 壮太郎
こばやし やすこ 小林 康子 (会員番号 1012) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株) 西武百貨店 インテリアハウジング事業部 東京都豊島区南池袋1-18-4 SMA館アネックス2階 〒171 TEL 03-5992-0472 FAX 03-5992-0475 東京都板橋区徳丸2-7-29 ヴィラ徳丸209 〒175 TEL 03-5398-1179 西沢 圭三・樋浦 陽行
かた やま かなめ 片山 要 (会員番号 1013) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	カタヤマホームセンター (株)丸力片山商店 釧路市共栄大通1-3-4 〒085 TEL 0154-23-2376 FAX 0154-31-0146 釧路市共栄大通1-3-4 〒085 TEL 0154-23-2376 FAX 0154-31-0146 山本 信・真下 優子
よつ や のぶこ 肆矢 伸子 (会員番号 1014) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	F. A 東京都小金井市東町4-35-17 〒164 TEL 0423-81-5056 東京都小金井市東町4-35-17 〒184 TEL 0423-81-5056 中川 帛子・松原文子
くぼ た きみこ 窪田 喜美子 (会員番号 1015) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株) ピ サ 東京都千代田区紀尾井町4-5 〒 TEL 03-3222-5418 FAX 03-3222-6737 東京都世田谷区駒沢1-12-6 〒154 TEL 03-3418-8517 FAX 03-5486-3393 宮代 紀子・中川 帛子

会員の異動

会 員 名	異 動 事 項	新
宮 城 由紀子 (関東P177)	自宅住所	神奈川県川崎市上麻生3-15-1-109 〒215 TEL 044-951-0247
速 水 毅 二 (関東P155)	自宅住所	埼玉県入間市扇町屋1-9-18 〒358
田 島 憲 悟 (関東P132)	自宅住所	横浜市南区六ツ川8-6-3-409 〒232 TEL 045-715-2910
中 川 成 人 (関東P140)	自宅住所	東京都新宿区下落合2-25-7 ルミエール目白108 〒161 TEL 03-5982-3436
中 川 斉 二 (関東P141)	自宅・事務所住所	茨城県笠間市笠間元蔵2732-2 〒309-16 TEL 0296-72-7873 FAX 0296-72-7820
中 島 重 美 (関東P143)	勤務先	(株)伊勢丹 建装事業部 設計監理担当 新宿区新宿3-14-1 〒160 TEL 3225-2456
松 浦 陽 子 (関東P171)	事務所開設	松浦陽子デザインオフィス 静岡市北安東3-12-13 松栄荘A-401 〒420 TEL 054-247-2938
但 田 孝 義 (関東P133)	住居表示変更・TEL	千葉県若葉区千城台北3-8-5 〒264 TEL 043-236-3453

会 員 名	異 動 事 項	新
山 本 桂 (会員番号925)	自宅住所	札幌市北区北35条西2丁目1-45 ノースコートEの205
荒 武 初 (関東P51)	事務所住所・Fax	東京都町田市中町3-24-9 コスモ町田101 Fax 0427-21-1660
杉 富士雄 (関東P118)	勤務先住所・TEL	世田谷区大原2-23-20 京王代田橋ビル 〒156 TEL 03-5300-5350 Fax 03-5300-5359
斉 藤 正 昭 (会員番号980)	勤務先住所・TEL	世田谷区大原2-23-20 京王代田橋ビル 〒156 TEL 03-5300-5353 Fax 03-5300-5359
澤 崎 隆 (関東P111)	事務所開設	有限会社 澤崎デザイン事務所 港区新橋5-34-7 第2三栄ビル6F 〒105 TEL 03-5401-1771 FAX 03-5401-1772
野 沢 弘 子 (関東P151)	住居表示変更・TEL	千葉市中央区東千葉1-6-1 〒260 TEL・Fax 043-256-8190
宇 田 比呂美 (関東P66)	自宅住所	世田谷区羽根木2-5-9 〒156 TEL 03-5376-8611
伊 藤 基 恭 (関東P60)	勤務先退社	西川産業株式会社
陶 山 由 美 (関東P123)	住居表示変更・TEL	千葉市中央区東千葉2-15-3 〒260 TEL 043-256-7685

会 員 名	異 動 事 項	新
内 田 正 雄 (関東P 67)	勤務先社名変更	澁澤クリエイティブ株式会社
日 原 もとこ (関東P 157)	勤務先 山形市自宅	東北芸術工科大学 デザイン工学部 生産デザイン科 山形市上桜田200番地 〒990 TEL 0236-27-2000 (代) 内線2404 Fax 0236-27-2081 山形市小白川町3-15-13-302 クレードル小白川 〒990 TEL・Fax 0236-34-5681
塚 原 正 一 (関東P 138)	自宅・事務所住所	文京区音羽1-6-4 〒112 事務所 TEL 5976-7282 Fax 5976-7283 自 宅 TEL 5976-7290
真 下 優 子 (会員番号927)	自宅住所	札幌市北区28番西7丁目2番32号 北28条シティパレスB-101 TEL 011-717-8775
村 上 章 彦 (中部P 233)	自宅・事務所住所	金沢市大桑町 力 399 〒920 TEL 0762-29-3666~7 Fax 0762-29-3669
藤 田 真 二 (中部P 229)	自宅住所	福井市和田東菊條19-2 〒910 TEL 0776-28-3659
内 記 悦 子 (中部P 226)	事務所開設	ライフデザイン総合研究所 富山県射水郡小杉町中太閤山8-46 〒939-03 TEL 0766-56-6527 Fax 0766-56-0384

会 員 名	異 動 事 項	新
奥 村 昭 三 (関西P251)	自宅・勤務先住所	勤務先：(株)若い街 大阪事業部 大阪市中央区高津1-10-16 〒542 TEL 06-768-6771 自宅：大阪府門真市速見町20-55 西尾ビル701 〒571 TEL 06-904-2182
岩 谷 雅 史 (関西P247)	自宅住所	徳島市沖浜町北川730
浅 田 弘 之 (関西P243)	勤務先所属部署・TEL	(株)高島屋 建装事業本部 設計部 TEL 06-632-3091 Fax 06-632-9147
橋 田 裕 司 (関西P270)	事務所住所	大阪市東淀川区西淡路3-18-2 〒533
上 田 隆 則 (関西P247)	事務所住所・TEL	大阪市西区靱本町1-5-18 本町天祥ビル603 TEL 06-449-7186 Fax 06-449-7186
石 村 徹 之 (関西P245)	事務所住所・TEL	吹田市青葉丘南8番S-307 〒565 TEL・FAX 06-876-5786
山 口 道 夫 (関西P283)	自宅住所	池田市伏尾台5-1-5-917 〒563 TEL 0727-54-1851
山 崎 晶 (関西P283)	勤務先	武庫川学院

会 員 名	異 動 事 項	新
鈴 木 暁 (関東P120)	自宅住所	川崎市高津区久末336-1 アーバンコンフォート419
岩 崎 真理子 (関東P64)	事務所住所・TEL	渋谷区代官山町13-8 キャッスルマンション代官山215 TEL 03-3463-0384 Fax 03-3461-7495
村 尾 栄 (名誉P41)	アトリエ住所・TEL	茨木市西福井3-7-5 〒567 TEL 0726-43-5014 Fax 06-449-1165
高 橋 啓 子 (中部P225)	自宅住所	愛知県江南市宮田神明町旭299 〒483
鳥 海 義之助 (名誉P40)	住居表示・TEL	千葉市中央区椿森2-14-4 〒260 TEL 043-251-9479
ミリケン・ジャパン 株式会社 (賛助P368)	住所・TEL	渋谷区桜丘町22-14 N. E. SビルN棟 〒150 TEL 03-5458-5015 Fax 03-5458-5018
株式会社 ジジ・サバディン ジャパン (賛助)	住所・TEL	港区北青山2-12-27 デコール青山3F 〒107 TEL 03-3401-6285 Fax 03-3401-6195
ヒューマン・ アカデミー (賛助P360)	住所・TEL	新宿区高田馬場4-4-2 尾上ビル1F 〒169 TEL 03-5236-9621
東陶機器株式会社 デザイン部 (賛助P350)	住所・TEL・担当者	神奈川県茅ヶ崎市本村2-8-1 〒253 TEL 0467-54-3316 Fax 0467-54-1173 担当者 坂 本 鐵 司

会 員 名	異 動 事 項	新
株式会社 アイティーオー (賛助P 3 2 7)	担当者	企画室長 辻 本 紀 敬
大装株式会社 (賛助)	社名変更	アスワン株式会社
株式会社 エービーシー商会 (賛助P 3 3 2)	担当者	ショールームオペレーション 永 嶺 和 子
株式会社 INAX (賛助P 3 3 0)	住所・担当者	愛知県常滑市港町3-77 商品開発本部デザイン部 部長 木 村 敏 夫
株式会社ニチベイ (賛助P 3 5 4)	担当者役職	次長 齋 藤 憲 一
山田照明株式会社 (賛助P 3 7 0)	担当者	常務取締役 山 田 光 夫
トーヨーサッシ 株式会社 (賛助P 3 5 1)	社名変更	トステム株式会社
株式会社 アトリア・ エイティエイト (賛助P 3 2 9)	担当者	大 坪 国 男

(賛助会員)

会 員 名	異 動 事 項	新
大和建材工業(株)		代表取締役 山下 八郎 大阪市中央区道修町3-4-11 新芝川ビル 〒541 TEL 06-203-7671 FAX 06-229-0729 紹介者 宇野 隆
(株)ファシリティプランニング研究所		代表取締役社長 石田 英昭 港区西麻布4-22-7 太陽ビル15・3F 〒106 TEL 03-5466-2281 FAX 03-5466-2284 担当者 設計室長 望月 伸一 紹介者 事務局扱

●事務局短信

- ① 梅雨入りして1か月が過ぎ、集中豪雨で昨年の台風で被害を受けた地方の二次災害が心配され、夏の到来が待ち遠しいこの頃です。
- ② 新年度の運営組織が5月の総会で決り、本部委員会の新担当理事と新委員長会議、支部担当理事と支部長との会議等が6月20日に東京で開催され、事業が活発に動き始めました。今後は、本支部の各委員会相互の連携プレーが3年後のIFI'95/名古屋を成功に導き、ひいてはJID会員の地位向上に結びつくのではないのでしょうか。
- ③ 昨年8月に改定された「定款」の施行に伴い、「会員規定」が9月に改訂されました。前年度の年会費を翌年の総会迄に未納の方は、「会員規定」第12条により、6ヵ月の権利停止となります。この間に納入されないときは、「定款」第8条2項(4)により退会と

なります。年会費の納入は、「会員規定」第7条2項で、前納が原則です。JIDの事業は会費収入で運営されていますので、平成4年度会費未納の方は至急お納め願います。

- ④ 「IDカード」の申し込みは、各支部事務局で常時受け付けております。まとめて作成する関係上、出来上がるまで時間がかかりますのでご了承願います。
- ⑤ 事務局職員に高木久美さんが5月中旬に入局し、やっと人員体制が整いました。会員の皆様大変ご迷惑をお掛けし、申し訳ありませんでした。会員の皆様に頼れる事務局となるよう、これからも一層努力しますのでよろしくお願いします。
- ⑤ 事務局の夏休みは次の通りです。期間中ご迷惑をおかけしますが、ご協力のほどお願いいたします。

8月12日(水) 13日(木) 14日(金)

愛 知 (株)

名古屋市東区筒井3-27-25 〒461
(052)937-5935 栗本勝重(コンタクト部部长)

(株) アイ ティ ー オ ー

東京都大田区平和島6-1-1 〒143
東京流通センターB棟5F
(03)3767-3000 太田省三(企画室長)

アイカ工業(株)

愛知県名古屋市中区丸ノ内2-20-19 〒460

名古屋東京海上ビル20F

(052)443-3711 大津 宏(研究開発本部部長)

(株) アイデック

東京都港区西麻布4-16-13 第28森ビル7F 〒106

(03)3499-4486 藤本文明(取締役営業本部部長)

(株) アイビック

愛知県西春日井郡清洲町丸ノ内1933 〒452

(052)409-5511 山田誠二(代表取締役社長)

(株) 青島商店

東京都港区芝大門1-1-11 〒105

(03)3431-4933

(03)3432-2032 青島賢治(代表取締役社長)

(株) アトリエ・エイティエイト

東京都港区北青山2-11-10 〒107

青山野末ビル 201号

(03)3404-6288 宮地祐輔

(株) アルフレックスジャパン

東京都渋谷区東2-9-8 〒150

(03)3406-8755 柏木 章(商品部マネジャー)

(株) イ ト ー キ

東京本社: 東京都中央区銀座3-7-3 〒104

オーミビル

(03)3566-5328 天野 明(取締役デザイン本部部長)

イ ビ デ ン (株)

岐阜県大垣市神田町2-1 〒503

(0584)81-3111 (代)

丹羽俊郎(建材事業部営業部部長)

イル・ドール(株)

東京都新宿区中井1-2-4

グランメール中井2F 〒161

(03)3565-2111 石塚一男(代表取締役)

(専) インテリアセンタースクール

東京都目黒区碑文谷5-15-1 〒152

(03)3710-6911 柄澤立子(理事長)

1992/6・7

頒価 300円(送料共)

1992年7月15日発行

(社団法人日本インテリアデザイナー協会月報1992年通巻第171号)

発行・社団法人 日本インテリアデザイナー協会事務局

印刷所・(社福)コロニー印刷

東京都渋谷区恵比寿南2-13-14 茶屋坂T&Kビル3F

☎03-5704-3421(代) F A X 03-5704-3423

振替・東京 8-76389